



走り初めを楽しむ元旦マラソンの参加者たち

走り初め、歩き初めを楽しむ

一関

一関楽走会、いちのせき歩こう会主催の「二〇〇九年元旦・マラソン&ウォーク」は一日、一関市大手町の一関文化センター前から平泉町の毛越寺までの区間約九キロで行われた。両会員と一般参加者計約百人が澄んだ空気の中、走り初め、歩き初めをそれぞれ楽しみ、心地良い汗を流した。

マラソンとウォーキング

グの合同開催は今回から。同市大町、地主町、中里新町などを経て平泉

町に入り、毛越寺山門前をゴールにしたコースで全員が午前中に完歩、完走を果たした。

ウォークに初参加した小野寺恵さん（二七）同市千厩町は「一年の始めに結構な距離を歩いたので、健康に一年を過ごせそう。疲れたけど楽しかった」と満足そうに語り、一関楽走会員でマラソンに毎年参加している佐藤伝さん（七三）平泉町は「年々きつくなってきた」と苦笑しながらも元気にゴールし、仲間と健闘をたたえ合っていた。

岩手日日

平成21年1月3日掲載